

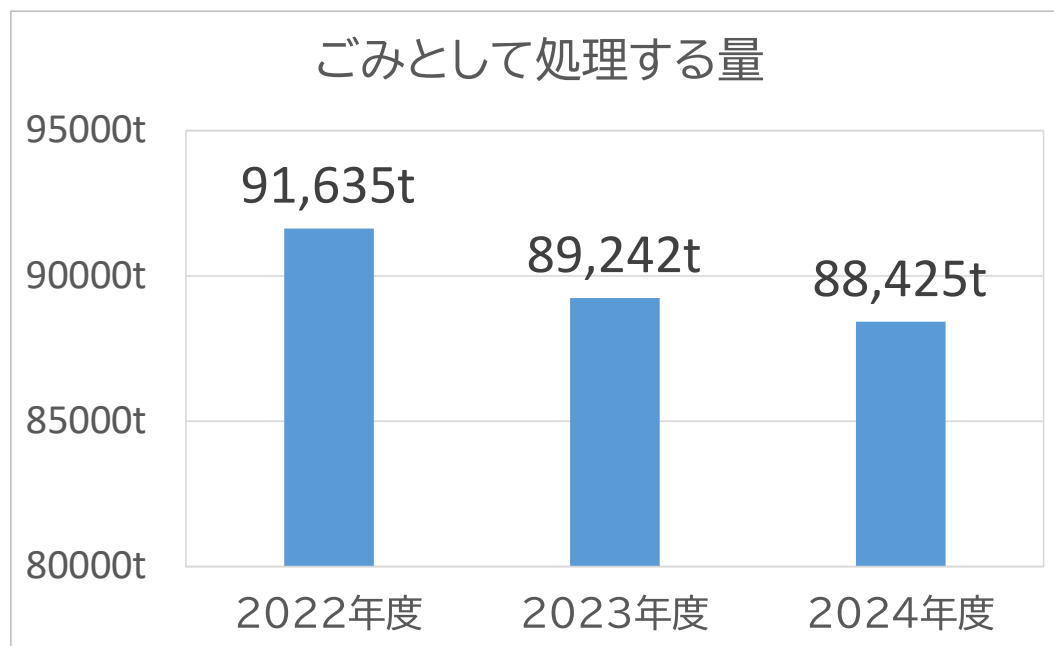
町田市の支援依頼ごみ搬入量等の報告

説明内容

- 1.ごみ量の状況
- 2.支援依頼ごみの状況
- 3.バイオエネルギーセンターでの火災等による応援依頼ごみの状況
- 4.今後の見込

1.ごみ量の状況

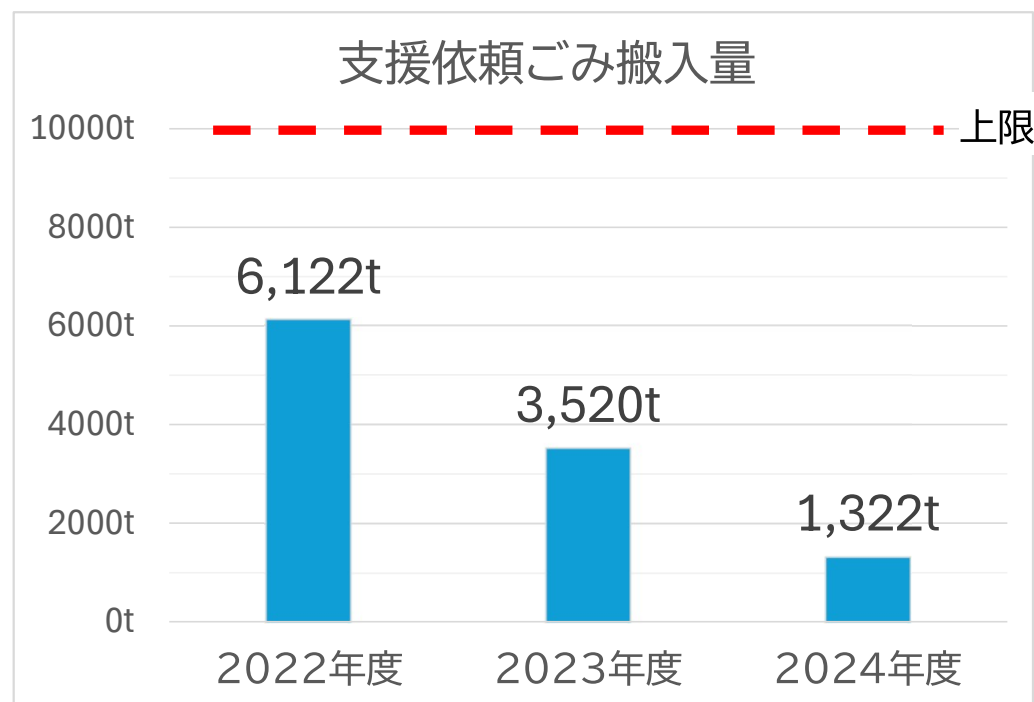
町田市内のごみとして処理する量（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ量の合計）は、年々減少傾向にあり、2024年度は、88,425トンとなりました。



2. 支援依頼ごみの状況

町田市の清掃工場である町田市バイオエネルギーセンターで処理しきることができないごみについて、年間10,000トンを上限に、多摩ニュータウン多摩清掃工場へ処理をお願いしております。

この支援依頼ごみの2024年度搬入量の実績は、1,322トンとなり、2022年度から2,198トン減少しました。



3.町田市バイオエネルギーセンターでの火災等による応援ごみの状況

2023年11月4日に町田市バイオエネルギーセンターのバイオガス化施設内（地下階）でリチウムイオン電池が原因とみられる火災が発生しました。

この火災の影響で、処理が困難となったごみについて、2024年度は3,613トン、2025年度は6月末までに378トンを多摩清掃工場にて受け入れていただきました。



選別ごみ搬送コンベアの被災状況

また、2025年3月と5月に焼却炉ボイラに不具合が発生した影響で、4月から6月末までに1,854トンのごみを多摩清掃工場にて受け入れていただきました。引き続き9月5日までの予定で合計約3,700トンのごみを受け入れていただく予定です。

4. 今後の見込

町田市では、市民・事業者への啓発強化、新たな資源化の取組など、ごみの減量を推進するための施策を強化してまいりましたが、依然として町田市バイオエネルギーセンターでは、市内で発生する可燃ごみの一部を処理できない状況です。

2025年度においても、支援依頼ごみについては970トン、火災や設備の故障に伴う応援ごみについては4,500トン程度の可燃ごみの処理を多摩清掃工場へお願いする見込みです。

多摩清掃工場周辺住民の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。